

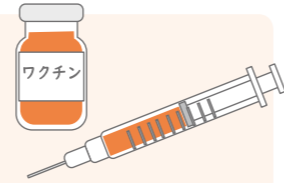
## ワクチン接種後も感染予防対策にご協力ください

新型コロナウイルスワクチンの集団接種や個別接種において、すでに2回目の接種を終えている方もおられると思います。

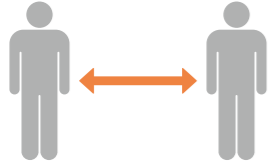
しかし、接種後でも新型コロナウイルスに感染する可能性があり、接種が終わったから大丈夫ということではありません。引き続き各自が感染予防に努めるとともにワクチンを接種した方が感染症対策を行わないことで、意図せずワクチンを接種していない方に対し、感染を拡げないようにしましょう。

### ファイザー社製ワクチンの

- ①効果は  
2回目接種後、7日程度経過してから  
予防効果は100%ではない。
- ②有効率は  
2回目接種で約95%です。



#### ①3密を避ける



#### ②外出時のマスク



#### ③手指の消毒



#### ④咳エチケット



## 熱中症にご注意ください

ワクチン接種会場では、空調設備を増設するなど、会場内の温度管理に努めていますが、当日の気温次第では会場にお越しいただくまで屋外でお待ちいただいている際に熱中症を発症してしまう可能性があります。

もしワクチン接種会場で気分が悪くなられた場合、救護スペースを設置していますので、お近くのスタッフにお申し出ください。

### 接種会場に行く際の注意点

#### ①こまめに水分補給を してください。

(会場内でも水分補給は可能です。水分補給できるものをご持参ください。)



#### ②受付開始時間より前 ご来場はお控えください。

(受付は予約時間の15分前から行います。)



#### ③接種前日は、 十分な睡眠をとりましょう。



## 12歳から18歳の方のワクチン接種について

市では、年齢の高い方から順に接種券の発送を行っており、12歳から18歳の方の接種券は、8月10日の週に発送する予定です。また、12歳から18歳の方で早期に接種を行う理由がある場合については、申し出により通常の予約よりも時期を早めて接種できる体制を整えています。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



問合せ 新型コロナウイルス感染症対策室 TEL69-2154 FAX69-2255

# 消防団員による 「土砂災害特別警戒区域」の点検

消防団員の皆さん  
安全・安心のための活動  
いつもありがとうございます

近年の局地的な豪雨による災害はどこにでも起こり得る可能性があります。

また台風による風水害が心配される時期でもあります。大雨警報が出た場合は、先月号でご紹介した「土砂災害警戒判定メッシュ情報(土砂キキクル)」で自分の住んでいる地域の危険度を確認するなど、災害に備えておきましょう。

現在、市内には1,061人の消防団員が日頃からの災害に備え、火災、風水害などがあつた際に市民の皆さんの安全・安心を守るために活動されています。

甲賀市消防団の増田嘉彦団長にお話を伺いました。



▲危険箇所を警戒巡視する消防団員

危機(キキ)が  
来る(クル)  
のを一目で確認  
**キキクル**

この雨大丈夫?そんな時は  
気象庁ホームページで確認

土砂キキクルは  
こちら →

キキクル 検索



甲賀市消防団  
増田嘉彦団長

毎年のように風水害による被害報告を聞くにつけ、大変心が痛んでいます。滋賀県は災害が少ない地域と言われており、市内では幸いこれまで大きな被害は出ていませんが災害はいつ、どこで起こってもおかしくありません。

そうした状況の中、昨年度、消防団として地域の情報収集と、災害時における避難誘導を円滑にするため市内の土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)市内990か所を目視により状態を確認しました。

その結果、**82か所**が継続的に注意が必要であることを確認しました。

今回の調査結果は、市や区・自治会、市民の皆様と情報を共有するとともに、風水害による危険が迫ってきた際には消防団としても注意をしていきます。

我々消防団員が避難情報の発令時や土砂災害等による危険性が高まっている時に、地域の「声かけリーダー」としての役割を果たすとともに、県、市や地域の皆様と連携し地域の防災力を高めていけるよう今後も活動していきます。

問合せ 危機管理課 TEL69-2103 FAX63-4619